

発行所 東京都文京区大塚町
35番地 桜蔭会旧館内
社団法人 大学婦人協会
電話大塚 (941) 9210
編集兼 国田 百合子
発行人
発行日 昭和40年3月3日
(第58号)

J A U W

おもな記事

- 1面 通常総会及評議員会御案内
- 2面 一步前進の年を! (役員)
- 3面 つづき・近刊紹介
- 4面 アメリカ便り・京都支部便り
40年度予算案・事務日誌

第八回通常総会及 評議員会御案内

一、総会

日時 昭和四十年四月四日
九時三十分より十六時まで
場所 大磯アカデミー・ハウス
会費 五百円 (昼食、茶菓)

一、評議員会

日時 昭和四十年四月三日
十三時三十分より十五時三十分まで及
二十時から二十一時三十分まで
場所 大磯アカデミー・ハウス
会費 不要

第八回総会と評議員会を右のように開催いたします。各支部長ならびに会員諸姉の御出席をお待ち申上げます。報告及審議事項をお読み下さいまして万障おくり合せの上お集り下さいませよう御案内申上げます。

昭和四十年二月廿日
大学婦人協会々長
北村 孝

会員皆様 評議員皆様

出欠の御返事を同封の葉書に記入の上、(欠席の方は必ず委任状を)三月二十五日までに所属支部長、又は東京本部あてにお送り下さい。

総会に於ての報告及 審議事項

- 一、報告
 1. 総務報告
 2. 委員会報告
 3. 支部報告
 4. 三十九年度収支決算報告
- 二、審議事項
 1. 役員理事及選考委員の選挙 (候補者名は五七号に記載)
 2. 四十年年度予算 (本号記載)
 3. オーストラリアに於ける I F U W 総会に代議員派遣の件
 4. 会費に關して
 5. ホームズ奨学金授与校と授与額に關して
 6. 次回総会開催地
 7. 其他

三十九年度を省みて 更に前進の年を

会長 北村 孝

桜花に包まれた名古屋城うになつたことはまことに喜ばしい。東南アジア研究はこうして進められていく。前回総会の日から一年経った今、大学婦人協会の此の一年の歩みを省みて今度の総会にのぞむ備えをしたい。名古屋総会での申し合せに互に励まし励まされて抱負を抱いて出発した年ではあったが、その成果は決して大きくはない、なまけな程僅かなものであると云わなければならない。けれども本部理事等は総会で託された計画の履行にその財政と能力と時間のゆるす限りの最大限の努力をしてきたことはいつわりのないことである。そして各支部もまた之によく呼応して活動を推進されたことも事実で、同慶の至りである。

三十九年度の強調点は全国的活動の推進であった。勿論支部にはその地域としての独自の活動もあり、本部にも本部としての常時の仕事があるが、総会では二年間にしようとして活動することを全国支部の活動として、それを本部が促進しお手伝いする、本部の企画もとなされる調査も全国と支部の協力を得て行い、と云う方向に本部も支度も努力して来たのである。そしてその努力は少しづつでも実を結びつつあると云い得るのではなからうか。

先づこれには総会席上でも、会報紙上でも多く聞かれたことであるが、本部と支部の交流である。本部理事は機会のある毎に、又時はゆるす限り支部の訪問にとつとめた。又支部からも本部の行事に参加され、上京して訪問され、或は通信や電話連絡も多く交され近づく、血の通った結びつきを感じることが出来るよ

が出来るようになるものである。また代表者には I F U W 総会から色々なよいものを得て来ていただきたい。各々の会員と共に考え親しく交わる経験から得られたものをもち帰って、AUW に活力と、その歩みにより指針を与えていただきたいと大きい期待を持っている。

以上のような、またこのほか総会の話合いの中から J A U W のすべき仕事が生み出されることであろうが、それ等も加えて会の前入る前の大磯の総会に、一人でも多くの会員が参加して有意義な集い集い集いすることをおねがいする次第である。

四十年年度事業計画

- 前回総会で諒承されたように事業計画は二年を一期として立てるので三十九年度事業計画(第五七号)を参照されたい。三十九年度新事業の「地域研究」は更に進め、四十年度は現地からの留学生招待を計画する。
- 懇談題目
1. 「ホームズ奨学金」増資について
 2. 留学生奨学金の贈金について
 3. 研修会開催について
 4. 支部増設について
 5. 其他



見学は各自で

今年には総会の機の見学は会としてはいたしませんから各自で御計画下さい。その為の宿泊等で御相談のある方は御遠慮なくお申出下さい。本部事務所

総会のための
宿泊申込は
三月廿日までに本部宛願
ます。
神奈川大磯町国府新宿
向原二
大磯アカデミー・ハウス
宿泊費(朝食付)
一、六〇〇円
(寝食は一〇〇円で借り
られます)

総会行事予定表

於 大磯アカデミー・ハウス

4月3日(土)	評議員会	1:30 p.m.—3:30
	講演会	板垣与一教授 3:30 p.m.—5:30
	親睦夕食会	6:00 a.m.—8:30
	評議員懇談会	8:00 a.m.—9:30

総会講演会御案内

講演会
「アジアの近代化と宗教」
一ツ橋大学教授
板垣 与一氏

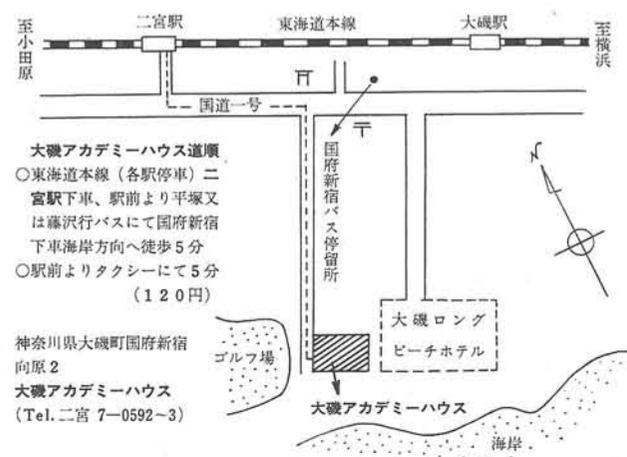
日時 四月三日十五時三十分から十七時三十分
場所 大磯アカデミー・ハウス

アジア問題の権威者である板垣教授の講演は私共の現在しておるの出来ない貴重なものでございませう。奮って聴講なさいませう。おすめいたします。

親睦夕食会

総会出席者の夕食会を計画しております。一年に一度の全国から集る会員の親睦のひとときとして親しく歓談いたしましませう。

4月3日(土)	総会	
	登録	9:00 a.m.
	開会	9:30 a.m.
	報告・議事・懇談	
	閉会	4:00 p.m.



婦人地位委員会

委員長 松本武子

(一) 報告

一、IFUWの婦人地位委員会より八月に「児童の保護に関する親の権利と義務」十一月に「専門教育を受けた女子の職業」について...

「ボランティア活動の手引き書」作成に集中

社会福祉委員長 一番ヶ瀬 康子

今年度新発足をした社会一、最大の全国組織である福祉委員会では、今後ますます全国社会福祉協議会が出版...

表1 大学・短期大学卒業生職業別就職状況

Table with 4 columns: 職業 (Occupation), 大学 (University), 短期大学 (Junior College), 就職状況 (Employment Status). Rows include 総数 (Total), 農林漁業従事者 (Agriculture), 事務従事者 (Office work), etc.

資料・文部省「学校基本調査」(36年)

表2 専門的・技術的・管理的職業についている婦人

Table with 4 columns: 職業 (Occupation), 男 (Men), 女 (Women), 総数に対する女子の割合 (Ratio of women to total). Rows include 技術者 (Technicians), 教員 (Teachers), 医療保健技術者 (Medical technicians), etc.

基準委員会

近藤 勝代子

一、三十八年四月の総会をパスしました加盟基準改正案は、その後IFUWに提出中でしたが、三月九年九月のギリシャにおける評議員会で承認を得ました...

表3 大学生の専門分野別・男女別比較 (昭和38年度)

Table with 5 columns: 分野 (Field), 大学 (University), 短期大学 (Junior College), 男 (Men), 女 (Women). Rows include 文学 (Literature), 法学 (Law), 理学 (Science), etc.

文部省集計による作成

昭和三十九年度 事業報告

広島支部 広瀬 浜子

一、支部総会、役員会、五回開催。二、例会、六回開催。三、新加盟支部、立正大学が四月の総会で三十四番目の加盟校として承認されました...

アメリカだより

粕谷委員長への手紙
一九六五年一月付

宇川慶子

いつぞやは早速にご紹介の活動計画をたてるという事になりました。実情をた。おかげ様でアーリントン支部のメンバーにして頂く事が出来ました。

十月でしたか大島清子様がお見えになり、一緒にワシントン本部をお訪ね致しモラン女史にいろいろとご親切にいただきました。ミセスシムメルツは丁度お忙しい時で、モラン女史を通して「是非一度お話ししたい」とおっしゃって下さいました。お忙しいので、まだご連絡いたしておりません。ミスモランは大変親切に私の事をアーリントン支部にご紹介下さり三回程いろいろなアクリヴィティに参加しました。がいつも気持ちよく迎えて下さり嬉しく思っています。(会費は十弗)。

域別のワークショップ、又数支部が集ってのワークショップなどすべて直面する問題をとり上げ、朝九時からといいますが、朝九時以上集って、ディスカッションや講演会などホット感心する程の熱心さで楽しく思っています。ジョンソン大統領の「WAR ON POVERTY」に関連して「The Role of Education in the Struggle against Poverty」と題し、実際にこの方面で働いているサイコロジストとかソーシャルワーカーとか厚生省のお役人とか、ワシントン内の最も黒人の集中しているカルゾノ地域で活躍している女の校長さんとか、皆女性でしたが、バネリストとして参加。実際の経験に基づいた熱のあるお話を、それはA A U Wのメンバーはこの仕事を出来るかという議論に移り中々熱心な発言がありました。ただお話を聞いて感心だけしては駄目で、私たちが実際にどうしたらよいかという事を各メンバーが各地域に戻って考え、今

昭和40年度大学婦人協会予算案

収入之部		支出之部	
項目	金額	項目	金額
(1) 基本財産収入	638,000	(1) 事務費	1,328,000
基本利子	620,000	給料	288,000
ホームズ基金利子	18,000	給諸	60,000
(2) 運営財産収入	12,000	什器備品	40,000
(3) 会費収入	1,145,000	消耗品費	83,000
正会員会費(1550人)	930,000	消耗品費	8,000
維持費(20人)	20,000	印刷費	15,000
入会金(200人)	20,000	通信費	60,000
賛助会員会費(30口)	150,000	事務所費	65,000
總會費(50人)	25,000	一般諸経費	30,000
(4) 事業収入	120,000	会報発行費	160,000
催物料	70,000	会議費	160,000
審査料	30,000	国際会議費	50,000
その他	20,000	理事会費	15,000
(5) 寄附収入	70,000	總會費	95,000
広告料	50,000	I F U W 会費	132,000
その他	20,000	支部費	310,000
(6) 運営分担金	40,000	(2) 事業費	1,605,000
(7) 補助金	400,000	国内奨学部	330,000
A	400,000	国内奨学金	300,000
B	200,000	ホームズ	30,000
C	300,000	国外奨学部	85,000
前年度繰越金	521,281	国際第一部	400,000
		国際第二部	50,000
		国際第二部	20,000
		財務部	20,000
		企画部	200,000
		教育部	30,000
		婦人地位向上部	130,000
		社福祉部	140,000
		大学基準部	130,000
		大会員部	10,000
		報道部	10,000
		臨時費	30,000
		(3) 支部振興費	20,000
		次年度繰越金	70,000
40年度収入	2,925,000	40年度支出	443,281
総計	3,446,281	総計	3,446,281



昭和39年11月7日 田辺繁子女史と大和路の秋色をめで、法華寺、浄るりを拝観后、法華寺で約1時間半「家旅法」に関する御講演をきく。〔京都支部だより〕



〔東南アジア研究会の「ひと」〕



上 中根千枝子氏によるインドについての研究会後ロビーにて座談会をいろいろの質問に答えておられるところ
下 ミセス・ウヴァニーによる「インドネシアのお話」、開会前ロビーにて

II (三面より)
小川信子 (日本女子大学専任講師)
湯本真子 (日本女子大学助手)
小川みどり (社会福祉の基礎用語)
小川みどり (全国社会福祉協議会刊)

事務局日誌

2月13日 役員会 国立教育会館
" 東南アジア研究の講演会 (東京支部) 国立教育会館
2月20日 定例理事会 本部事務所

後記

昭和39年度最後の会報をお届けいたします。間近に総会を控えて、更に、躍進の新しい年を迎える為、本部役員の方々から御寄稿いただきました本年度の歩みと未来への抱負とを、会員の皆様と共々味読いたし、役員各位の御苦労に対して感謝申し上げて存じております。

来年度は、各支部よりのお便りや支部会などのお写真をもっととって掲載いたし度く存じておりますので、各支部からの御寄稿をお待ちいたしております。(春浅き研究室にて 国田記)